

# なよろ



名寄市観光キャラクター  
「なよろ」



令和3年  
第3回定例会  
第 **62** 号  
令和3年11月1日  
発行



名寄市議会ホームページ

- 定例会で決まったこと  
次期の議員定数が**18人→16人**に ..... 2
- 一般質問に13人（9月15・16・17日）  
議会運営委員会活動報告 ..... 4～10
- 令和2年度の決算を審査しました .....11～12
- 各常任委員会活動報告・議員協議会 .....13～15
- きぼう（石田 雅子さん、栗原 星来さん） .....16

題字 名寄市立風連中学校 相馬 美咲(そうま みさき)さん

令和3年 第3回定例会 8月31日～9月27日

▽名寄市空家等の適正管理に関する条例の制定について原案可決。  
 ▽消費拡大支援策、プレミアム商品券経費などの補正予算案を原案可決。

▽令和3年第3回定例会は、8月31日から9月27日までの28日間の会期で開会。28件の議案を審議。  
 ▽開会初日に加藤市長から行政報告。  
 ▽令和3年第2回定例会で市民福祉常任委員会に付託されていた「名寄市空家等の適正管理に関する条例の制定について」委員長報告のとおり原案可決。  
 ▽新しい名寄市過疎地域持続的発展市町村計画について可決。  
 ▽「名寄市中小企業振興条例の制定について」を経済建設常任委員会に付託。  
 ▽15日、16日、17日の一般質問では13人の議員が市政の課題について質問。

主な条例の制定

☆「名寄市空家等の適正管理に関する条例」の制定について

市内の空家等の適正管理に関し、空家等対策の推進に関する特別措置法に規定されるもののほか、必要な事項を定め、生活環境の維持及び改善を図り、安全で安心な地域社会の形成に寄与するため、条例を制定しました。今後は、適正に管理がされていない空家等に対しては、条令に基づき現地確認を行った上で所有

者の方などに必要に応じた助言などを行います。

主な補正予算

☆商業指導育成対策事業費

新型コロナウイルスの影響を大きく受けた市内経済の回復を図るため、市内店舗で利用できるプレミアム商品券の発行事業に対して補助し、消費喚起による地域経済の維持・活性化を図るため、1億745万円追加しました。  
 ☆新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費

ワクチン接種に従事する医師・看護師などの派遣委託料、事務員の時間外手当などの経費として2401万円を追加しました。財源については、同額を国庫補助金にて予算を計上しています。

☆総合福祉センター維持管理事業費

現在、故障により使用できない状況となっている視聴覚室のエアコンと自動火災報知設備受信機を更新するため、275万円を追加しました。

☆市税還付事業費

固定資産税・都市計画税において、建物構造の登録錯誤により過誤納が生じていることが判明したことから、地方税法ならびに名寄市税条例、名寄市固定資産税過誤納金返金支払要綱に基づく償還金として、1047万3千円を追加しました。

☆文化財保護事業費

本市の指定文化財である「名寄教会云堂」の半地下階の改修工事に対し、名寄市文化財保護条例の規定に基づき、経費の一部を補助するため、1760万円を追加しました。なお、改修工事は、道補助金880万円を活用して実施します。

議員提案により  
条例の一部を改正

☆名寄市議会議員定数条例の一部改正について

次期一般選挙より、議員定数を18人から2人削減して16人とするため、条例の一部を改正しました。

☆名寄市議会委員会条例の一部改正について

次の一般選挙から市議会議員の定数を16人とするとに伴い、市民福祉常任委員会、経済建設常任委員会の定数を6人から5人に、議会運営委員会の定数を8人から7人に改めるとともに、議長はその職責を勘案し、議会の同意を得て常任委員会の委員を辞退することができるようにするため、条例の一部を改正しました。  
 ☆名寄市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部改正  
 議会活動ができない期間に応じ、議員報酬を減額して支給する場合の計算方法などの規定について見直しをするため、条例の一部を改正しました。

令和3年 第3回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
令和3年第2回定例会付託議案第1号	名寄市空家等の適正管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第1号	デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	名寄市過疎地域持続的発展市町村計画について	原案可決
議案第6号	令和3年度名寄市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第7号	令和3年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第8号	令和3年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第9号	令和3年度名寄市食肉センター事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第10号	令和3年度名寄市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第11号	令和2年度名寄市一般会計決算の認定について	認定
議案第12号	令和2年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定
議案第13号	令和2年度名寄市介護保険特別会計決算の認定について	認定
議案第14号	令和2年度名寄市食肉センター事業特別会計決算の認定について	認定
議案第15号	令和2年度名寄市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定
議案第16号	令和2年度名寄市立大学特別会計決算の認定について	認定
議案第17号	令和2年度名寄市病院事業会計決算の認定について	認定
議案第18号	令和2年度名寄市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第19号	令和2年度名寄市下水道事業会計決算の認定について	認定
議案第20号	特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第21号	名寄市中小企業振興条例の制定について	閉会中審査決定
議案第22号	財産の取得について	原案可決
議案第23号	財産の取得について	原案可決
議案第24号	令和3年度名寄市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第25号	名寄市議会議員定数条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	名寄市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
議案第27号	名寄市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第28号	名寄市議会会議規則の一部改正について	原案可決

《賛否の分かれた議案》

※○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民ネット					市政クラブ							議公共						
			富岡達彦	倉澤宏	山崎真由美	佐久間誠	佐藤美靖	高野美枝子	三浦勝秀	今村芳彦	五十嵐千絵	遠藤隆男	清水一夫	塩田昌彦	東川孝義	山田典幸	黒井徹	東千春	高橋伸典	川村幸栄	
議案第11号	令和2年度名寄市一般会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第12号	令和2年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第25号	名寄市議会議員定数条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退
議案第26号	名寄市議会委員会条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退

※公(公明) 共(日本共産党) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。

第3回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ◎コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
- ◎豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書
- ◎防災拠点となるべき庁舎整備のための起債制度創設を求める意見書
- ◎国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書





未来みすえてまちづくりを

市民ネット 佐久間 誠 議員

**重点プロジェクトの達成率は**

**総合計画（第2次）中期**

**基本計画のKPI（成果指標）**  
中間点検をどう総括するか。  
事業費執行は予測通りか。

**答** 重点プロジェクトの達成率は53・8%、主要施策を合わせた全体の達成率は31・4%となっている。事業費は、新規事業を搭載したことから策定当初から36億円余り増加しているが、国・道の交付金活用で一般財源の圧縮を図っている。

**新設校づくりの議論は**

**魅力化推進委員会と統合**

**推進委員会の議論状況と議論**  
内容はどのような形で道教委に反映されるのか。

**答** 新設校は設置者が北海道教育委員会であるため、再編統合に向けた様々な事項については、名寄高校と名寄産業高校の先生で構成される「統合推進委員会」で検討を行い、その結果を踏まえて、道教委



生徒たちの要望を組み込んだ新設校が期待される

が新設校の設置を行うことになっていく。

**問** 既存周辺施設（名農キャンパス・圃場・緑丘遊水地）を生かした環境整備の考えや統合後の増改築計画は。

**答** 周辺環境の充実は魅力アップにできる要因の一つ。一方、新設校では酪農科学科の廃止に伴い名農キャンパスなどの活用の見込みや整備の考えはない。新設校には、令和5年度に実習棟を整備する計画。

**他の質問** 脱炭素社会を目指す本市の姿勢



市民と協働のまちづくりを

市政クラブ 東川 孝義 議員

**持続可能なまちづくりは**

**問** 市民主体のまちづくりに向けて、基本となるのは地域コミュニティであり、町内会ネットワーク事業の参加数及び地域連絡協議会の活動は。

**答** 町内会ネットワーク事業の参加数は52町内会であり、地域連絡協議会の活動は、コロナウイルス感染症の影響を受け、事業実施は10件で昨年より4件減少している。情報の周知については、市民が主体的にまちづくりに参加する際の「市民の権利と役割」などの周知を図り、自治基本条例の理念を浸透させている。

**王子工場の跡地活用は**

**問** 王子マテリア(株)名寄工場

生産停止を間近に控え、関連会社を含めた従業員の動向は、広大な敷地の利活用と建物の解体作業の用途は。

**答** 従業員への対応は、対策



生産停止が間近に迫った、王子マテリア(株)名寄工場

本部とハローワークも連携し、求人確保などの取り組みを始めている。敷地活用については、王子側が再生可能エネルギーの事業化に向けて検討している。物流拠点化についても物流ワーキングチームでの取り組みを含めて、成果を目指し取り組みを続けている。工場などの解体については、王子で解体する意向を確認しており、着手時期は、来年度になってからと想定している。

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 安心して暮らせるまちづくり

市政クラブ 遠藤 隆男 議員

#### 安全安心なまちづくりを

**問** 将来的な防災対策の充実について本市の考えを伺う。

**答** 様々な自然災害に対応できるよう、防災・減災の取り組みを推進していく。特に、本市は、水害のリスクが高いと考えており、天塩川上流減災対策協議会での取り組み方針などに基つき、防災訓練や防災セミナーなどの継続した取り組みにより、防災対策の充実を図っていく。

**答** 本年5月に災害対策基本法が改正され、避難情報の見直しによる修正、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した非常持ち出し品の新たな記載なども必要であり、土砂災害警戒区域などの新たな指定やサンダム完成による浸水想定の変更、また、豊栄川の浸水想定の変更も予想され、これら最新の情報を掲載した

防災マップを令和4年度に作成する方向で検討を進めている。

**問** 介護老人福祉施設などにおける災害対策について伺う。

**答** 令和3年3月に策定した第8期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画において、高齢者福祉施策の推進項目に新たに災害対策を設け、災害の発生に備えて介護事業所と防災担当部局などが連携し、災害リスクや物資の備蓄などの確認を行うこととしている。特別養護老人ホーム清峰園においては、洪水時の避難確保計画を策定し、毎年、新採用職員向けの研修、災害避難訓練などを実施し、最低3日分の備蓄と更新管理を行っている。

**他の質問**  
高齢者福祉の充実について



安心して暮らせる対策と体制を



### 防災について

市政クラブ 清水 一夫 議員

#### 名寄市防災訓練について

**問** 本年度の名寄市防災訓練は、課題を見つける物資輸送訓練と市民参加型の名寄市防災訓練を同日に並行して実施した。物資輸送訓練で防災拠点から各自治体の1次集積所に輸送し、それぞれの避難所に物資を配送した。水害時、本市の1次集積所としては、高台にある人材開発センターがよいと思う。名農キャンパスも候補に上がると思うが見解を伺う。

**答** 現在の考えとしては、その時の浸水状況や輸送道路の状況などを踏まえて設置することとしており、現時点で施設を特定しているものではない。

#### 避難訓練について

**問** 市の防災訓練参加者から訓練の必要性和避難の重要性について建設的な意見があったと聞いているが、次年度以降、各町内会が避難行動など

の実行動が大事と思うが、その施策について伺う。

**答** 町内会や学校などで防災訓練などを行う場合、依頼に基つき、市の防災担当職員が様々な形で支援し普及啓発に努めているのでご理解願いたい。

**他の質問** 無名川の改修について



名寄市緑丘にある人材開発センター



## 空家対策について

市政クラブ 三浦 勝秀 議員

### 空家の現状と課題について

**問** 空家に関する現状の調査結果と課題・取り組みについて伺う。

**答** 調査の結果、空家の件数は約250件ほどあり、大部分は周辺に影響を及ぼすような状況ではないが、一部では適正管理されていない空家もあった。周辺環境に危険などを及ぼす恐れがある空家が生じることが、安全安心なまちづくりを行う上で課題であると認識している。

**問** 特定空家などへの対応について現状の対策と進捗状況を伺う。

**答** 市民の苦情などに基づいている案件の半数では対策を講じていただいているが、残り様々な理由により売買や解体などの進みづらい案件もあり建物の老朽化が課題となっている。今後は空家など



空家対策の推進を！

の管理責任について周知や広報活動を続け、本定例会で議決された「名寄市空家等の適正管理に関する条例」に基づく立ち入り調査や緊急安全措置の適用も検討する。

### 他の質問

市営住宅の空家のあり方について、コロナ禍における地域経済対策について



## 市民の命と健康を守る対策

市政クラブ 塩田 昌彦 議員

### 中小企業の振興について

**問** 今定例会において、名寄市中小企業振興条例の見直しについて議案の提案が準備されているため、質問を取りやめることにした。なお、この件に関しては、経済建設常任委員会の中で集中審査を行っていく。

### 新型コロナウイルス感染対策について

**問** 緊急事態宣言の発出に伴い名寄市の対応として、不要不急の外出や移動の自粛など注意喚起するなか、公共施設の利用制限を8月30日からとした根拠について。

**答** 北海道の対策を踏まえ対策本部会議を開催し、市民への周知を考慮しての決定であり前回までの対応と変わっていないが、今後において状況を見ながら判断したい。

**問** 学校における感染対策及び学校に携わる教職員や12歳から15歳の小中学生へのワクチン接種について。

**答** 本市の小中学校では、文部科学省から示されているレベル3の行動基準に則して、3密の回避やマスクの着用、手洗いなど、児童生徒に感染させない対策を講じながら教育活動を推進している。小中学生については、名寄市立総合病院と事前協議を行い、小児科のワクチン外来において8月24日から9月14日時点で343人が1回目の接種を終了し、順次2回目の接種を実施している。さらに、10月上旬までに150人の予約を受け付けており、現在のところ67・3%の児童生徒が接種する予定となっている。

### 他の質問

名寄公園の維持管理について



12歳からの小中学生ワクチン接種



## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 地方創生の更なる充実強化を

公明 高橋伸典 議員

#### 企業版ふるさと納税の活用を

**問** 地域活性化に貢献した企業に寄付額を損金算入でき法人住民税・法人税・法人事業税の一部から控除でき実質の寄付額の1割とメリットがあり、自治体は厳しい財政運営の一助にと期待されているが、令和2年から地方創生のさらなる充実・強化に向けて地方への資金の流れを飛躍的に高める観点から、制度が大幅に見直され、税制控除が寄付額の約9割へ拡大となり実質的な負担が約1割と企業にとって使いやすい仕組みとなった。信用中央金庫（再生可能エネルギー実証実験）と芸者東京株式会社（ジュニア世代の育成強化）から寄付をいただいている。寄付を活用した事業成果などをホームページやSNSなどで情報発信するなど、企業版ふるさと納税の更なる活用を目指し取り組み。

#### 関係人口の創出の推進を

**問** 地方創生推進交付金で、東京都から地方へ移住する世帯に最大100万・18歳未満の子どもに一定額の上乗せ支給する「移住支援金」を活用した移住促進対策の推進を。

**答** 北海道と連携した北海道型ワーケーションへ参加し、ライフスタイルの多様化を促し、自然環境を活かした地域の魅力を発信し、足を運んでもらえるきっかけ作りなど関係人口の創出に向け取り組み。

**他の質問**  
障がい者への福祉のまちづくり



企業版ふるさと納税の活用で地方創生を



### バランスのとれた情報開示を

市民ネット 富岡達彦 議員

#### ワクチン接種にかかわって

**問** 本市での接種後副反応に係る件数と症例について伺う。  
**答** 厚労省において評価結果の情報開示はされているが、市町村別の情報は開示されていない。

**問** 緊急特例承認で接種が始まった「mRNAワクチン」であるが、危険性と有効性について、両論併記のバランスのとれた情報開示が必要と考えるが見解を伺う。

**答** ホームページを見直して必要な部分を加筆する。  
**問** 12歳から15歳など若い世代への接種の在り方についてのどのような案内をされているか。

**答** 12歳から15歳に関しては、お子さんと保護者向けリーフレットを接種券に同封した。  
**問** 接種できない人や慎重な人に対する不利益や行動制限などの、

#### 権利侵害や人権侵害が起こらないようにする対策は。

**答** 差別や偏見、強要や嫌がらせは許されるものではないということを広報で周知した。  
**ギガスクール構想について**  
**問** 教職員と保護者の1対1テレシー向上とモラル指導についての考え方を伺う。

**答** 児童生徒の主體的な情報選択と情報活用能力向上のためにも、道教委からの配信をもとにテレシー向上とルール設定、モラルに係る講習会を実施している。

**他の質問** 公共交通網形成計画と物流拠点化にかかわって



コロナ感染、ワクチン差別はやめましょう

※リテラシー：情報を正しく読み解き、正しく活用する能力



新設高校の全容はいつ明らかに

日本共産党 川村幸栄 議員

**問** コロナ・ICT・高校受験

新型コロナウイルス感染拡大への対応について、登校状況、感染防止対策、PCR検査を学級・学年など広く行政検査として行うことについて。

**答** 3密の回避やマスクの適切な着用、手洗いなど児童生徒に感染させない対策をしている。感染不安などで登校を見合わせた児童生徒については、担任が家庭に電話連絡を行い、心の不安などの状況を把握し、相談を行うなど心のケアに努めている。検査については、保健所と相談連携し対応する。

**問** GIGAスクール構想では、教育格差を一層拡大し、教職員の負担増を生むのでは。

**答** 常に一人ひとりのコンピュータに対する知識や操作技術などの状況を的確に把握し、理解の状況に応じた指導を行い学習活動を進めている。

**問** 現中3、中2年生はコロナ禍で高校受験をめざしている。地元高校の統廃合もあり苦慮しているのでは。新しい高校の全容はいつになったら明らかにするのか。中学生の思いを正確につかむことが大切。

**答** 進路説明会、高校説明会などや学習支援を行っている。合同拡大会議は年内数回開催予定。検討結果を道教委に報告する。新設校に関する内容の周知は速やかに行うよう道教委にお願いしている。高校教育に関するアンケートを行う。

**他の質問** 国保税の負担軽減を



市民に身近な、名農キャンパスの牛たちの風景



持続発展が可能な農業へ

市政クラブ 今村芳彦 議員

**新規作物への挑戦へ**

**問** 振興センターの新たな農産物導入に向けた取り組みは。

**答** アスパラガスやカノコソウ、寒締めほうれん草などの試験に取り組んでいる。

今後本市農業の実状や将来性を考慮し、持続的な発展と収益性の向上につながるよう試験・研究に取り組む。

**新規就農者の挑戦へ**

**問** 推奨すべき経営モデルの課題は。

**答** 初期投資を抑えトマトなど高収益作物の栽培を推奨し、関係機関での指導・研修を行っているが、農地の確保は課題として認識している。

**問** 第三者経営継承へ向けた取り組みと課題は。

**答** 人・農地プランからの意向調査を経て、移譲希望者の情報を紹介している。継承を成功させるためには、地域の一員として迎え入れる理解が必要と考えている。

**更なる発展へ向けて**

**問** 第2次名寄市農業・農村振興計画の見直しは。

**答** 現在の基本計画は平成29年度に策定され、令和4年度までを前期としている。来年度に関係機関・団体などによる検討委員会を組織し、国や道の計画において示される方針や地域農業の課題や農業者の要望を踏まえ検討を進め、令和5年度を初年度とする後期計画の策定を予定している。



秋晴れのもと、軽快に収穫作業を進めるコンバイン(瑞生地区)



## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 都市宣言を基軸に

市民ネット 山崎 真由美 議員

#### 教育宣言都市の新設高校

**問** 令和5年4月、新設校としてスタートする高校に対しては、生徒の興味・関心や進路希望を叶えるために地域全体で応援体制を構築することが重要であると考えます。教育宣言都市としての施策を伺う。

**答** 道教委への要望書に、給食提供が可能となる設備整備や、部活動指導者の配置なども盛り込んだ。市単独でも特色となる取り組みに対応したい。また、上級学校への進路希望を叶える特進クラスの設置や、単位制の導入により教職員数増を図り、進路選択の幅を広げられるようにする。

**問** 現有的の職業科がなくなることへの対応は。

**答** 農業、工業、商業、生活文化などの専門の基礎を学べる科目の設置を要望している。

#### 安全・安心のまち名寄

**問** 猛暑の夏も安心して活動できるように、公共施設のエア

コン設置が求められるが。

**答** 設置状況や要望を調査し、優先順位などを判断しながら新年度予算編成で協議する。

**問** ヒグマ目撃情報などが多く不安が広がっている。望湖台自然公園は、今年度中閉鎖となっているが対策は。

**答** 目撃情報があれば速やかに、猟友会のヒグマ駆除隊員と市の林務担当者で現地を確認し、看板設置や町内会への連絡をする。公園は閉鎖していてもパトロールはしている。



ヒグマ出没中を知らせる看板(風連望湖台)

### 市民の懸案事項解決を

市民ネット 佐藤 靖 議員

#### 基金活かし大胆な施策へ

**問** コロナ禍により依然として厳しい経済環境、加えて王さまテリア名寄工場の稼働停止、急速に進む少子高齢化などの確に対応するため、来年度予算は大胆な編成が必要。平成22年度末で46億4400万円だった基金は、令和元年度末で84億4300万円に膨れ上がり、備荒資金組合納付金などを加えると総額は約100億円に達する。将来の財政負担軽減のために、財政規律を厳守しながらも、冷え切った市内経済の活性、市民の懸案事項解決のため、市長選挙年の骨格編成とはせず、本格予算編成として基金も大胆に活用し、市民が抱える各種課題の解決を目指すべきではないか。

**答** 11月1日に発する新年度予算編成作業の市長訓令まで時間があるので、内部協議をしながら、基金活用を含め、

先を見据え、求められる施策に慎重かつ大胆な判断を行っていく。

#### 市民の期待する施策展開を

**問** 混雑状況にある市立総合病院自動精算機周辺解消のため、院舎東側の駐輪スペースの活用。さらには地域コミュニティ向上のため、町内会掲示板助成制度、印刷機などが低価で利用できる仮称・市民活動支援センターの設置を検討すべき。

**答** 提言を受け、各関係機関、関係者と協議したい。



市立病院の混雑解消のため、東側駐輪場所の活用を



## 今後の名寄市について

市民ネット 高野美枝子 議員

### 公共施設の整備について

**問** 人口減少、高齢化、コロナウイルス感染症、猛暑、交付金など厳しい環境である。今後の名寄市のまちづくりに向けた最適な公共施設のあり方は。児童生徒数が急減している教育施設の整備は。空き室が目立つ公営住宅を独り暮らしの高齢者対策として、まちなかに高齢者公営住宅の整備を。老朽化した庁舎は耐震基準も満たしておらず、災害時の対策本部設置が危ぶまれるが、対応は。

**答** 非常に大きな課題で今年度末までに立地適正化計画、公共施設等総合管理計画に基づき議論を進めている。教育施設は長寿命化改修で計画的機能回復を図り暑さ対策を進める。高齢者公営住宅は、管理中の市営住宅の中で、バリアフリー、シルバーハウジング住宅で対応している。庁舎は財源措置がない。環境整備が急務。災害時の対応は業務継続計画で定めている。

### 社会教育について

**問** 社会教育の重要性は周知の事実。高齢化社会を迎え人生百年時代の到来と言われ生涯学習のあり方が名寄の未来を変える。地域や町内会で様々な学びがあり生きる喜びや力になり、次世代につないでいくことができ、市民の活力や地元愛が育まれる。引きこもりやフレイル予防、町内会の衰退の観点からも重要。取り組みについて伺う。

**答** 市民の活力が地域のエネルギーの肝になる。学校・家庭・社会教育が重要。昨年度から始めた地域学校協働活動は学校と地域・児童生徒と市民をつなぎ様々な生涯学習や地域発展の可能性がある。

### 他の質問 観光振興 について



整備が急がれる中学校

## 議会運営委員会 活動報告

令和3年第3回定例会の日程、議事運営などを協議するため、6月24日から9月22日まで委員会を8回開催しました。

8月26日の委員会では、会期を8月31日から9月27日までの28日間とすること、一般質問は15日から17日の3日間とし13名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は、デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてなど11件と報告2件で、議案第11号令和2年度名寄市一般会計決算の他、5特別会計決算と3事業会計決算を、全議員で構成する決算審査特別委員会に付託し審査することとしました。

9月22日の委員会では、定例会最終日の追加議案、名寄市中小企業振興条例に制定について他7件の審議を行うことを確認しました。

## 議会改革について

議会改革の優先検討項目である議員定数の考え方や関連する常任委員会などの機能強化についての議論など、総合的に協議を行っています。

議員定数のあり方については、議会基本条例に基づき慎重に議論を行うとともに、昨年10月に実施しました「名寄市議会に関する市民アンケート調査」の結果を踏まえ、議員定数を2人削減するという方向性を出し、今年7月に開催の「市民との意見交換会」に臨み、市民の声が市政に反映されにくくなるなどの懸念する意見もありましたが、引き続き議論を重ねた結果、今後、議員一人ひとりが日々の研鑽と資質の向上に努め、議会活動に注力しより効率的な議会運営と市民意見の反映を目指す、議員定数2人削減することを決定しました。

なお、令和3年第3回定例会に名寄市議会議員定数条例の一部改正について及び関連する条例の一部改正について3件を提案し、可決しました。

令和2年度決算審査特別委員会

令和2年度の決算を認定

第3回定例会において、令和2年度の各会計決算について、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、内容を審査しました。

第1回委員会を8月31日に開催し、委員長に山崎真由美委員、副委員長に今村芳彦委員を選出しました。

第2回目以降は、9月21日、22日、24日、27日の4日間の実質審議に入り、各会派の代表による総括質疑および委員による質疑が行われ、男女共同参画、生活・環境問題、観光に関する施策、教育、福祉行政、病院事業など、多岐にわたる案件について、事業の成果や今後の展望、市民生活の向上に向けた事業の継続や改善を求めるなど、議会が決定した予算が適正に執行されたのかどうかを慎重に審査しました。

審査の結果、全会計決算中、一般会計と国民健康保険特別会計については賛成多数によ

り、その他の介護保険、食肉センター、後期高齢者医療、大学の4特別会計と病院、水道、下水道の3事業会計は全会一致で認定されました。審査結果は本会議で報告され、各会計決算は原案のとおり認定されました。



山崎真由美委員長(左)と今村芳彦副委員長(右)

決算審査特別委員会での質疑の一部を掲載します

医療介護連携情報共有ICT事業費

**問** 登録者および登録医療機関数は、将来的にどのくらいの規模を考えているのか。間口を広げて多くの命を救える体制づくりを。

**答** 登録者数は、700人を超えている。医療機関は60施設。今は名寄市内のみだが、将来的には広域的にも加入医療機関を増やしていきたい。

ずっと住まいる応援事業費

**問** 屋根の改修件数は67件。屋根の塗装をただけで高齢者の雪下ろしが非常に楽になると聞く。福祉担当者などとの横の連携はあるのか。

**答** 制度設計の時から横の繋がりのある部署も入っている。今は特化した取り組みはしていないが、今後見直す機会がある場合には検討していきたい。

生涯学習運営事業費

**問** ※ジャックの豆事業は、市民の活動を応援する非常に良い事業だが、利用実績が少ない。相談まではいったが利用実績に至らなかった理由は。助成要件などの変更の考えは。

**答** 実際に使いたい時と申請との間に時間がなかったことと、助成要件等が相談者の意向と合わなかったため。要件の見直しは必要と考える。

広報公聴事業費

**問** 出前トークについては昨年34回703名の参加があった。まち懇やパブコメと同様に市政と市民との意思疎通は非常に大事。出前トークの市民のニーズと反応は。

**答** 介護予防に係る「いつまでも元気はつらつ」というメニューの注文が多い。みんなの公民館という新しいメニューを加え40種類ある。今後も引き続き行っていく。

※ジャックの豆事業：自主的学習グループ・サークル活動促進事業



総括質疑



コロナ禍における決算の評価は

市政クラブ 山田典幸 委員

**問** コロナ禍での財政運営の評価

**答** 当該年度はコロナ禍の状況下での行政運営であったが、決算を終えてどのように評価をしているか。

**答** 各種事業の見直し、感染拡大防止策や経済対策事業の執行など、日々変化する状況を見極めながらの行政運営となつたが、感染拡大の防止や医療や福祉、地域経済活動の維持に大きく寄与し一定の評価をいただいていると考えている。

**問** 決算の評価を踏まえた上で、次の年度予算編成に対する考え方は。

**答** 今後想定される課題への対応を考えると市財政は厳しく、コロナ禍による財政への影響も見逃せない状況にある。限られた財源を効果的、効率的に活用するためどのような事業を選択するのか、市民のニーズを掴みながら十分に議論を重ねていく。

**問** 関係団体などの協力を得て12の全国・全道規模の冬季スポーツ大会を開催できた成果として、冬季間の合宿受入はコロナ禍前と比較して約2割増となつた。改めて本市の冬季スポーツのポテンシャルの高さを感じさせる実績となつた。

**答** 関係団体などの協力を得て12の全国・全道規模の冬季スポーツ大会を開催できた成果として、冬季間の合宿受入はコロナ禍前と比較して約2割増となつた。改めて本市の冬季スポーツのポテンシャルの高さを感じさせる実績となつた。

**問** 智恵文小学校校舎改築（小中一貫教育）事業の執行状況について。

**答** 開校準備委員会を4回開催し、新棟の建設、現中学校校舎の改修を検討した。引き続き、令和6年度の開校に向けた必要な事項を開校準備委員会と協議し、智恵文義務教育学校として小中一貫教育を推進していく。

**問** 令和2年度決算状況について

**答** 令和2年度の決算規模は予算現額で260億円規模とこれまでになく大きな金額となつたが、次年度以降の影響を考慮し激変緩和の考えは。

**答** 令和2年度規模の維持は困難だが、当初・補正予算に関わらず、その時々状況に応じて施策を検討していく。

**問** 行財政改革について

**答** 指定管理料がこの3年間で2億9千万円以上増加しているが、経費削減の目的達成には競争性の担保が必要では。市内業者の選定を基本におこなっていることから応募が複数あつた施設は現協定の中ではない。選定委員会の外部委員として指針に基づき税理士、会計士、弁護士など専門的な人材の登用を次任期で考えていく

適切な予算執行と事務処理を

市民ネット 倉澤宏 委員

**問** 補助金の適正化について

**答** 概ね5年ごとに見直しを図るとしているが取り組み状況は。前回の見直しから8年を経過、負担金、交付金も含め公益性や有効性を考慮し行政の支援が妥当か判断していく。

**問** 適正な事務事業執行について

**答** 下水道使用料賦課漏れや固定資産税の過大徴収が相次いだり再発防止策とリスク管理は。

**答** ご迷惑をかけたことをあらためてお詫びする。チェック体制強化、業務内容の見直しを図り再発防止を徹底する。

**問** 主要事業の執行状況と評価



令和6年度の開校に向けて準備が進む智恵文義務教育学校（仮称）



水道料金と一緒に請求される下水道使用料金だが最長で40年近く請求されていなかった

# 総務文教常任委員会活動報告

## 第7回委員会報告

7月28日に第7回委員会を開催し、総合政策部から名寄市公共施設等再配置計画、J R 名寄高校駅設置スケジュール、王子マテリア名寄工場跡地活用の推進状況、移住定住推進の取り組み、地域おこし協力隊、令和2年度ス



跡地活用の協議が進む王子マテリア名寄工場

名寄市子どもの読書活動推進計画の策定、ふうれん地域交流センター南側駐車場造成、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。総合政策部から王子マテリア名寄工場2号

ポーツ合宿入込実績について説明を受け、質疑を行いました。

## 第8回委員会報告

8月20日に第8回委員会を開催し、名寄市立大学から学生募集オープンキャンパスの開催状況、就職活動状況、コロナワクチン職域接種について説明を受け、質疑を行いました。教育委員会から智恵文義務教育学校整備事業、名寄中学校・名寄東中学校施設整備、名寄市内高校魅力化推進委員会、第4次



人口減少社会を見据えた公共交通調査

マシンの9月停機予定、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。

## 第9回委員会報告

9月21日に第9回委員会を開催し、総務部から名寄市情報通信技術を活用した行政の推進などに関する条例の制定のパブリックコメントについて説明を受けました。

## 所管事務調査事項

第7・8・9回委員会で公共交通について、名寄市全地図を参考に現況確認・空白地域の現況・今後の課題の協議を進めました。

## 議会日誌 8~10月

8/2 経済建設常任委員会  
8/4 議会運営委員会  
8/11 議会報特別委員会  
8/12 議会運営委員会  
8/18 経済建設常任委員会  
8/19 市民福祉常任委員会  
8/20 総務文教常任委員会  
8/24 各会派代表者会議  
8/26 議会運営委員会  
8/27 議会報特別委員会

8/31 令和3年第3回定例会開会  
決算審査特別委員会  
議員協議会  
9/14 経済建設常任委員会  
9/21 決算審査特別委員会  
(~22日、24日、27日)  
9/21 総務文教常任委員会  
9/22 議会運営委員会  
9/27 令和3年第3回定例会閉会  
各会派代表者会議  
10/1 総務文教常任委員会  
10/6 議会運営委員会

10/7 上川北部市町村議会議長会  
10/12 北海道市議会議長会  
道北支部議長会  
10/13 経済建設常任委員会  
10/15 議会報特別委員会  
10/20 議会運営委員会  
10/25 全国市議会議長会基地協議会  
総会北海道部定期総会  
10/26 議会運営委員会  
令和3年第3回臨時議会  
市民福祉常任委員会  
10/27 総務文教常任委員会

## 市民福祉常任委員会活動報告

### 新型コロナウイルス感染症対策

6月28日の第8回委員会では高齢者の接種状況、優先接種、職域接種、64歳以下の予定、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金についての報告を受けました。

8月19日の第10回委員会では「緊急事態宣言」及び「まん延防止など重点措置」について。7月下旬から毎週新規感染者が確認され感染対策強化を市民周知。8月18日現在の接種率は65歳以上が1回目92・2%、2回目90・4%。12歳以下は1回目45・2%、2回目22・2%。9月以降のスケジュール、会場変更の検討などの報告を受け質疑を行いました。



接種が進むワクチン会場

令和3年第2回定例会付託議案第1号 名寄市空家などの適正管理に関する条例の制定

空家などの管理に関する意識の向上や近隣の建物・歩行者などの保護、生活環境の維持や改善を図る事を目的とし建物の飛散や壁の崩壊など市民への危害を及ぼすなど切迫性の高い場合必要最小限度の措置をし、費用は所有者から徴収。

第8回委員会では助言指導の考え方、空家対策協議会との位置づけ、過料などについて。

7月7日第9回委員会では質疑後委員間議論を行い可決すべきものと決定しました。

### 子どもの遊び場整備事業

第10回委員会では7月13日委託契約、10月上旬遊び場遊具搬入、11月中旬プレオープン予定の報告を受けました。

第10回委員会では市民部より令和2年度市税収納状況と道内都市における名寄市の収

納状況は現年課税31億円収納率全道2位でした。

健康福祉部からは第3回定例会提案予定の条例の一部改正と補正予算について。

名寄市立総合病院からは第3回定例会提出予定議案、条例の一部改正と補正予算。

令和3年度市立総合病院第1四半期の収支について報告がありました。

### 委員会のテーマ

第9回委員会では健康福祉部、守屋参与より「名寄市医療介護連携ICTシステム事業」の運用開始に向けて懇談会を開催しました。ネットワークの名称「ポラリスネットワーク」並びに医療・介護の連携サービスの目的、具体的な運用など、詳細な説明を戴きました。



ICTシステム事業懇談会

## 議員協議会

8月31日本会議終了後議員協議会が開催され、3つの案件について説明を受けました。

名寄社会福祉事業団の経営状況では、清峰園、各デイサービスセンター、居宅介護事業所、老人ホーム事業などの報告と決算の報告を受けました。

次期中間処理施設整備検討状況では、地域における一般廃棄物を安定的かつ安全に継続して処理するため、ごみ処理施設である炭化センターや名寄地区最終処分場の現在に至るまでの経緯と今後の課題について報告を受けました。

第2次行財政改革推進基本計画では、基本的な考え方や実施計画と取り組み状況について説明を受けた後、事務事業や持続可能な財政運営の推進、市民と協働の行政運営について説明を受けました。





# ☆ き ぽ う ☆



## 名寄がくれた私の生きがい

いしだ まさこ  
石田 雅子

旭川からこの地に移住してきた日、冷んやりと澄んだ空気がとても心地よかったことを今でも思い出します。

あの日から早6年。夫の転勤で2年だけ滞在予定でした。しかし、この街には日常を感動させる物や人が溢れていて、永住を決めました。中でも過酷な自然環境の中で作られる野菜や畜産物はとても品質が高く、素晴らしい物ばかり。生産者の方々のストーリーに胸を打たれ、この素晴らしさを形にしたい！と思うようになりました。現在は以前から好きだった料理を勉強し直し、料理教室、イベント時のみ弁当販売やケータリング、レシピ制作などを仕事にしています。やればやるほど名寄だからこそ実現できる強みを発見でき、どんどんこの街が好きになります。市内外関わらず多くの方に名寄の魅力を伝えられるよう精進し続けたいと思います。



## コロナウイルスと学校生活

くりはら せいら  
栗原 星来

高校3年生の春。突然現れた新型コロナウイルスの影響により、学校が休みになりました。初めは嬉しい気持ちだったものの、楽しみにしていた学校行事は中止、分散登校で友達ともなかなか会えない。そのような状況になりことの深刻さによりやく気がつきました。そんな激しい現状の中、受験勉強を続けていた仲間たちはものすごく輝いて見え、頼もしかったです。

そして大学入学。想像とはかけ離れた自宅で授業を受ける大学生活を送っていますが、この状況下だからこそ学べたことがあると思います。

看護職を目指している身として「気分転換ができない状況にあったらどう感じるのか」「家族や友人、大切な人に会えないとどのような気持ちになるのか」など、とても大事なことに気づけました。入院されている患者さんの気持ちをすべて理解することはできませんが、少しでも寄り添える看護師に近づけた気がしています。これからも夢に向かって頑張っていきたいです。

## 表紙の写真は「風連町卓球スポーツ少年団」です。

風連町卓球スポーツ少年団（松森聖和団長＝風連中3年生）は、毎週金曜日、風連中央小学校校体育館で練習しています。今年度は現在、小学2年生から高校2年生まで16名です。団を運営するのは、同団育成会（尾矢直紀会長）で指導者と団員保護者で組織されています。指導者の大半は、同団を巣立った方々です。毎月末の月例大会の組み合わせは抽選で行われ、熱戦が繰り広げられています。



## 編集後記

私事で恐縮ですが、スマホに変えて半年が過ぎました▼日進月歩のデジタルツールは公私ともに大活躍で、とても便利なものだと思感しています▼国はデジタル庁を発足させ、本市もデジタル推進がスタートしました。議会においてもタブレット端末の導入に向けた議論が加速しています▼若い人たちが簡単に使いこなすデジタルツールも、アナログ世代の中高年者にはハードルが高いのも事実です。多様な機能を使いこなすにも、若者世代からのアドバイスは欠かせません▼一方で、便利な道具も使い手次第です。道具に使われるようでは本末転倒です▼スマホ依存や読書離れ、SNSなどでのイジメなども深刻な社会問題になっています▼ネット社会では、画像や動画で直接視覚に訴える手法が主流になっています▼議会だよりの誌面構成も、若世代に読まれる工夫が必要不可欠なのかもしれませんね（富）

